

歩道舗装構成表

① 透水性舗装における舗装構成

		標準の場合	切り下げの場合		摘要
			普通車の場合	大型車の場合	
アスファルト 舗装	表 層	t = 4 cm (開粒度)	t = 5 cm (開粒度)	特殊部におけ る舗装構成を 参照	1 透水性舗装用 加熱アスファルト混合 物舗装を原則と する。 2 路盤面のプライム コートは施工しな い。
	路 盤	t = 10 cm (C-40) (RC-40)	t = 20 cm (C-40) (RC-40)		
	フィルター 層	t = 10 cm (砂層)	t = 10 cm (砂層)		

② 特殊部における舗装構成

		標準の場合	切り下げの場合		摘要
			普通車の場合	大型車の場合	
アスファルト 舗装	表 層	t = 3 cm (密粒度) (再生密粒度)	t = 5 cm (密粒度) (再生密粒度)	t = 5 cm (密粒度) (再生密粒度)	1 アスファルト舗装を 原則とする。
	基 層	—	—	t = 5 cm (粗粒度) (再生粗粒度)	
	路 盤	t = 10 cm (C-40) (RC-40)	t = 20 cm (C-40) (RC-40)	t = 30 cm (C-40) (RC-40)	
コンクリート 舗装	コンクリート 舗装版	t = 7 cm ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/m}^2$)	t = 10 cm ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/m}^2$)	t = 15 cm ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/m}^2$)	
	路 盤	t = 10 cm (C-40) (RC-40)	t = 20 cm (C-40) (RC-40)	t = 30 cm (C-40) (RC-40)	

※注1 アスファルト舗装における表層の材料は、維持管理上必要と認める場合、細粒度（再生細粒度）とすることができる。

③ インターロッキングブロック

	一般部	切下げ部	大型切下げ部	摘要
インターロッキング ブロック	t = 6 cm インターロッキングブロック	t = 8 cm インターロッキングブロック	t = 8 cm インターロッキングブロック	
	t = 3 cm 砂又は空練りモルタル	t = 3 cm 砂又は空練りモルタル	t = 3 cm 砂又は空練りモルタル	
路盤	t = 10 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	t = 15 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	t = 10 cm 再生歴青安定処理	
			t = 15 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	

④ 磁器質タイル (横浜厚木)

	一般部	切下げ部	大型切下げ部	摘要
磁器質タイル 舗装	t = 2 cm 磁器質タイル	t = 2 cm 磁器質タイル	t = 2 cm 磁器質タイル	
	t = 3 cm 均しモルタル	t = 3 cm 均しモルタル	t = 3 cm 均しモルタル	
	t = 7 cm コンクリート N=18-8	t = 10 cm コンクリート N=18-8 溶接金網 ワイヤーメッシュ 網目 150 mm×150 mm 線径 φ5.0 mm	t = 15 cm コンクリート N=18-8 鉄筋格子 D13 (SD295A) (異形鉄筋溶接金網) 網目 200 mm×200 mm	
路盤	t = 10 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	t = 20 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	t = 30 cm RC-40 (再生クラッシュラン)	